

I. 2023年度事業報告（2023年3月1日から2024年2月29日まで）

【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」、論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況（括弧内は紙媒体による送付数）

（2024年2月末現在）

	化学と生物 (第62巻, 第2号)		Biosci.Biotechnol.Biochem (第88巻, 第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名誉会員	15 (5)	0 (0)	15 (6)	0 (0)
有功会員	204 (55)	0 (0)	204 (4)	0 (0)
シニア会員	188 (20)	0 (0)	188 (5)	0 (0)
一般会員	5072 (100)	6 (0)	5072 (101)	6 (0)
教育会員	84 (81)	0 (0)	84 (2)	0 (0)
学生会員	1906 (4)	0 (0)	1906 (4)	0 (0)
ジュニア会員	9 (0)	0 (0)	9 (0)	0 (0)
国外会員	0 (0)	8 (1)	0 (0)	8 (1)
賛助会員	90 (92)	0 (0)	90 (91)	0 (0)
団体会員	222 (224)	0 (0)	222 (223)	0 (0)
寄贈・交換	0 (16)	0 (7)	0 (4)	0 (8)
追加送本 ^{*1}	0 (7)	0 (0)	0 (4)	0 (0)
販売 ^{*2}	0 (480)	0 (0)	71 (0)	1862 (0)
広告用	0 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
事務局保存用	0 (15)	0 (0)	0 (5)	0 (0)
計	7790 (1119)	14 (8)	7861 (449)	1876 (9)
総計	7804 (1127)		9737 (458)	
紙媒体印刷部数	(1200)		(460)	
紙媒体残部	(73)		(2)	

※ オンライン版会誌送付数は2023年度以降の会費納入済の会員数

※1 賛助会員に追加で送本しているもの（有料）

※2 和文誌を刊行している国際文献社、英文誌を刊行している Oxford University Press が販売しているもの

Oxford University Press の販売データは2023年12月末時点のもの

「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第57巻 (2019年)	第58巻 (2020年)	第59巻 (2021年)	第60巻 (2022年)	第61巻 (2023年)
解説	359	353	342	297	356
	49	47	44	40	45
セミナー室	217	138	83	129	68
	26	19	10	16	9
今日の話	90	94	64	106	103
	35	34	21	35	32
バイオサイエンススコープ	0	12	6	19	5
	0	2	1	3	1
生物コーナー・化学の窓	6	0	5	13	11
	1	0	1	2	2
トップランナーに聞く	9	0	8	0	5
	1	0	1	0	1
海外だより・学界の動き	22	21	4	5	7
	4	4	1	1	1
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	28	40	44	40	18
	5	7	7	7	3
農芸化学 @High School	17	21	29	25	21
	5	5	7	6	6
特別寄稿			19		
			2		
その他	28	25	32	32	30
印刷頁数（冊子体）	776	704	636	666	624

「化学と生物」執筆者へ「化学と生物・クリアファイル」を配布している。

2) 「化学と生物」既存記事で構成された「化学と生物 SDGs特集号」は2023年11月にオンライン版を発行した。

3) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

英文誌投稿状況・掲載状況

月	2023年														2024年		
	前年末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	62	67	69	84	83	83	94	93	86	75	78	80	67		82	81	
受理数		47	46	71	51	55	53	65	52	50	50	45	42	627	72	59	131
掲載数		14	13	12	13	13	14	16	15	17	18	15	16	176	14	14	28
返却数		28	31	44	39	42	28	50	44	44	29	28	39	446	43	46	89
issue		87-02	87-03	87-04	87-05	87-06	87-07	87-08	87-09	87-10	87-11	87-12	88-01		88-02	88-03	

英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数	IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外				
2019年	947	669	289	95	661	563	171	2393 (Vol.83)	700 (Vol.83, No.12)	1.516
2020年	1119	835	297	101	813	731	180	2608 (Vol.84)	650 (Vol.84, No.12)	2.043
2021年	858	613	289	77	679	599	70	2475 (Vol.85)	500 (Vol.85, No.12)	2.337
2022年	693	433	204	31	497	408	62	1725 (Vol.86)	480 (Vol.86, No.12)	1.6
2023年	627	396	176	24	446	366	67	1558 (Vol.87)	465 (Vol.87, No.12)	
増減	- 66	- 37	- 28	- 7	- 51	- 42	5	- 167	- 15	

*増減は2022年と2023年の比較

4) 2023年度大会プログラム集は2023年2月25日にPDF版を発行した。

5) 2023年度大会講演要旨集は2023年3月5日にPDF版を発行した。

- (2) 学術大会、講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業
- 1) 2023年度学会賞等受賞者講演の開催
2023年度の日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞の受賞者講演は2023年3月17日に広島コンベンションホール（広島県広島市東区二葉の里3-5-4）よりライブ配信で、農芸化学奨励賞の受賞者講演は2023年3月14日、農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞および農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は2023年3月16日にZoomで繋ぎライブ配信で行なった。
- 2) 2023年度大会の開催
2023年度大会は2023年3月14日から17日までの4日間一部ハイブリッドを含めたZoom等を使用したオンラインにおいて以下の内容で開催され、大会参加者数は3,168名であった。
- ・口頭発表による一般講演（1,194題）
 - ・シンポジウム（16テーマ・100題）の発表と討論
 - ・スポンサーセミナー（5社・6題）
 - ・ジュニア農芸化学会（82題）
 - ・産学官学術交流フォーラム（13題）
- 大会に先立ち、2023年3月9日に報道各社を招き、記者会見を開催した。新聞、出版社各9社9名に学会および2023年度大会の広報資料を配布し、副会長から学会の紹介、大会実行委員長から大会全体の紹介、さらに広報委員長、広報理事からトピックス31演題の紹介、その内の6演題について研究発表者が自らその概要の説明を行なった。
- 2023年度大会におけるトピックス賞として下記31題を表彰した。
- 2D02-12 高城博也 日清食品ホールディングス株式会社
「おからを活用した *Lipomyces starkeyi* 由来食用代替パーム油の低コスト化および高生産化」
- 1E06-05 星野翔太郎 東京大学大学院農学生命科学研究科
「放線菌におけるヒ素二次代謝経路に関する研究」
- 1F02-07 Yuxun ZHU 東京大学大学院農学生命科学研究科
「Discovery of an unprecedented use of thiamine diphosphate in natural product biosynthesis」
- 2E01-07 石川 萌 京都大学大学院農学研究科
「クライオ電子顕微鏡によるコレラ菌 Na⁺ 輸送性 NADH-ユビキノン酸化還元酵素の構造解明」
- 2E05-03 小倉知也 福井県立大学大学院生物資源学研究科
「ポリカチオンイソペプチド修飾した中分子ペプチドの細胞膜透過性と生理活性の評価」
- 2E08-06 佐野陽菜 山形大学大学院理工学研究科
「フタルイミド型 SARS-CoV 3CL protease 阻害剤の構造活性相関研究」
- 1C08-03 伊澤 悠 富山県立大学工学部
「UDP-グルコース供給系と UDP-グルコース転移酵素を用いた配糖体の微生物生産」
- 2C05-04 足立大宜 京都大学大学院農学研究科
「酢酸菌の呼吸鎖酵素による電気化学カスケード反応系の開発」
- 3H04-10 小原 紀 岩手大学農学部
「自動オMISSION装置を活用したライムを特徴づける香り成分の探索」
- 1H02-09 武政 誠 東京電機大学理工学部
「食感分析への深層学習の応用」
- 1G03-08 三谷墨一 信州大学農学部
「NAD代謝系の活性化を介した大豆イソフラボンの抗肥満効果について」
- 1G05-04 網 優太 近畿大学生物理工学部
「腸内細菌は大豆由来難消化性ペプチド中のアルギニンをポリアミンに変換できる」
- 1G06-01 中世古拓男 日清食品ホールディングス株式会社
「2型糖尿病患者、高血圧患者を対象とした完全栄養食の効果の検証（シングルアーム試験）」
- 2G08-04 益村晃司 広島大学大学院統合生命科学研究科
「S-アデノシルホモシステインはメチオニン制限を模倣して寿命を延長する」
- 3G03-04 田中まゆひ 東京大学大学院農学生命科学研究科
「精神的ストレスに伴う甘味嗜好性の調節メカニズムの解析」
- 1A05-08 原 克樹 筑波大学生物資源科学学位プログラム
「海洋細菌の遊泳持久力の多様性とそのメカニズム」
- 3A03-06 坂巻 裕 東京農業大学生命科学部
「シアノバクテリアにおける自律複製領域の探索とそれを利用した高発現ベクターの構築」
- 3B02-02 宮下和樹 日本大学大学院生物資源科学研究科
「酢酸菌の光活性型転写アクチベーター LOV-HTH の機能解析」
- 3A08-09 喜多孝介 東京農業大学大学院醸造学専攻
「伝統水産発酵食品「くさや」製造に重要な「くさや汁」中の微生物と成分生成との相関」
- 3B04-03 武居宏明 九州大学大学院医学研究院
「Cas9 ニッケースの戦略的配置による汎用的な遺伝子増幅法の開発」
- 1B02-03 富田 理 農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門
「Aspergillus属麹菌を用いた表面カビ熟成チーズの揮発性および水溶性成分のプロファイル解析」
- 2B04-01 吉留大輔 東京大学大学院農学生命科学研究科
「窒素固定細菌を用いた大気中窒素を由来とする L-グルタミン酸生産法の確立」
- 2C03-03 水谷 拓 京都大学大学院農学研究科
「S-置換システイン類の合成効率向上を目指した微生物酵素の探索」
- 3C01-06 脇中琢良 ヤマサ醤油株式会社
「醤油乳酸菌のバクテリオファージ感受性に関わる菌体外多糖合成遺伝子群の同定」

- 3I01-08 野口 惇 東京大学大学院農学生命科学研究科
「乳酸菌由来 γ リノレン酸代謝産物 γ KetoD, γ HYD はヒト小腸オルガノイドの脂質代謝を改善する PPAR δ リガンドである」
- 2I05-07 高橋 裕 東京大学大学院農学生命科学研究科
「大量培養を志向したヒト小腸オルガノイドの培養技術開発」
- 2J02-08 森 信之介 慶應義塾大学理工学部
「ユキツバキとヤブツバキ：鳥媒花のヤブツバキでは花弁中の α -クマロイル基結合型アントシアニンがハチへの視認性を下げる」
- 3J04-06 手塚大介 農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門
「ゲノム編集による「グルテン」形成オオムギの創出」
- 3J04-08 石川まるみ 理化学研究所バトンゾーン研究推進プログラム (BZP)
「CRISPR/Cas9 ゲノム編集技術による回収率向上を目的とした遊泳不全ユウグレナ変異株の作出」
- 3E03-10 朴 龍洙 静岡大学グリーン科学技術研究所
「イヌバルボウイス様粒子の表面への複数のタンパク質の提示」
- 2D07-01 中村彰宏 長岡技術科学大学工学専攻
「ドロップレットを用いた超高効率な微生物スクリーニングのためのクマリン系基質の開発」
- 3) ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）の開催
ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）は2023年度大会期間中の2023年3月14日にプレゼンテーション動画アップロードにて発表された。（82題・82校）
- 4) 農芸化学Frontiers シンポジウムの開催
農芸化学Frontiers シンポジウムは2023年度大会では開催がなかった。
- 5) 第50回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催
農芸化学「化学と生物」シンポジウムは Visionary 農芸化学100 シンポジウムがその趣旨を引き継ぐことになり、第50回農芸化学「化学と生物」シンポジウムと並記し「天然物化学4.0：構造・合成・生物活性の先にあるもの」というタイトルで、2023年7月29日に対面とオンライン（Zoom ウェビナー）によるハイブリッド形式にて開催された。
- 6) 分野融合連携シンポジウムの開催
分野融合連携シンポジウムは2023年3月14日に日本細菌学会との合同企画が「腸内細菌叢だけじゃない！全身に影響する口腔内細菌叢」というタイトルで、オンライン形式（Zoom ウェビナー）にて開催された。
- 7) サイエンスカフェの開催
*¹日本学術会議農芸化学分科会／宮崎大学農学部と共催、*²岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター／日本学術会議農芸化学分科会と共催、*³京都カラスマ大学と共催、*⁴日本学術会議農芸化学分科会／東京農業大学醸友会と共催
- 1 [第147回] *¹（宮崎）2023年5月27日「暮らしを支える×暮らしを彩る“結晶学”～チョコレートから抗ウイルス薬まで、美しいだけじゃない、ここに結晶ありき～」（宮崎大学地域デザイン棟）講師：和田啓氏，コーディネーター：稲葉靖子氏 参加者：22名
- 2 [第148回]（山口）2023年7月1日「虫のココだけの話，教えてください！」（山口市菜香亭）講師：小島渉氏，山中明氏，コーディネーター：薬師寿治氏 参加者：29名
- 3 [第149回]（札幌）2023年11月16日「健康・長寿と腸内細菌の関わり」（三省堂書店札幌店内ブックス & カフェ（UCC））講師：吹谷智氏，コーディネーター：前田智也氏 参加者：28名
- 4 [第150回]（富山）2023年11月19日「発酵食品は菌と人間の出会いのふるさと」（富山市民プラザ AV スタジオ）講師：小柳喬氏，コーディネーター：日比慎氏 参加者：10名
- 5 [第151回] *²（岩手）2024年1月23日「岩手の微生物が世界を救う！？自然に還るバイオプラスチックのおはなし」（岩手大学農学部（生命系スペースC））講師：山田美和氏，コーディネーター：山田美和氏 参加者：12名
- 6 [第152回] *³（京都）2024年1月27日「腸内細菌に生かされている，わたしたち」（カフェ・フロッシュ）講師：岸野重信氏，コーディネーター：京都カラスマ大学，木村泰久氏 参加者：21名
- 7 [第153回] *⁴（東京）2024年2月10日「醤油造りでもウイルスは嫌われる」（東京農業大学世田谷キャンパス国際センター1F レストランスペース）講師：脇中琢良氏，コーディネーター：徳岡昌文氏 参加者：27名
- 8) 産学官学術交流フォーラムの開催
産学官学術交流フォーラムは、2023年3月15日にオンライン形式にて開催された。
- ・第3回夢にチャレンジ企画賞ピッチコンテスト
 - ・第20回農芸化学研究企画賞研究企画発表会
 - ・第19回農芸化学研究企画賞中間報告会
 - ・第18回農芸化学研究企画賞最終報告会
 - ・シンポジウム「農芸化学分野における博士人材の未来ビジョン」
 - ・第3回 夢にチャレンジ企画賞 審査結果発表
- 9) 産学官若手交流会（さんわか）セミナーの開催
産学官若手交流会（さんわか）セミナーは以下の通り2回開催した。
- 1 [第40回] 次世代の食品産業 ～生産から消費まで～（2023年12月4日，京都大学農学部総合館講義室W506，参加者数40名）
- 2 [第41回] 伝える科学，伝わる科学（2024年1月22日，Zoom ウェビナー配信，聴講者数230名）
- 10) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催
創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして，Visionary 農芸化学100 シンポジウムを下記のとおり1回

開催した。

1 [Group C：天然物化学研究領域 第3回シンポジウム]
「天然物化学4.0：構造・合成・生物活性の先にあるもの」(2023年7月29日，対面とweb配信によるハイブリッド開催，参加者数：309名(対面77名，オンライン聴講者232名))

11) 【創立100周年記念事業】「新年の集い～創立100周年に向けて～」の開催

賛助会員並びに報道各社に対して年頭の挨拶と2024年に迎える創立100周年記念事業，2024年度大会について紹介するとともに，会員相互あるいは取材の場としての交流を深めるため，以下のとおり開催した。

2024年1月18日(木) 18:00～20:00 京王プラザホテル新宿 42階 高尾(参加者数：22名(内，賛助会員3名，報道各社11名))

12) 各支部の講演会等の開催

北海道支部 (2件)

- ・2023年度日本農芸化学会北海道支部／第53回日本栄養・食糧学会北海道支部合同学術講演会(とちかちプラザ，8月5日)
- ・2023年度日本農芸化学会北海道支部 第2回学術講演会(北海道大学農学部，12月9日～10日)

東北支部 (5件)

- ・東北支部シンポジウム(山形大学鶴岡キャンパス，10月14日，参加者数49名)
- ・東北支部 若手の会(仙台秋保温泉，12月1日～2日，参加者53名)
- ・東北支部 第158回大会(東北大学青葉山新キャンパス，12月2日，参加者143名)
- ・協賛公開シンポジウム「酵素・タンパク質複合体の観察と解析技術の最前線」(東北大学片平北門会館，12月15日，参加者39名)
- ・共催公開シンポジウム「KCみやぎ産学共同研究会“NanoTerasu活用に向けた農畜水産物・食品の測定・評価技術の開発と，企業・地域課題解決のための包括的利用システム構築”報告会」(東北大学農学研究科，2月27日，参加者91名)

関東支部 (4件)

- ・バイオサイエンス・スクール(BSS)2023(日本大学生物資源科学部，8月8日)
- ・2023年度支部大会(明治大学生田キャンパス，8月25日)
- ・2023年度企業イベント(Web開催，11月18日)
- ・2023年度支部例会(日本大学生物資源科学部，11月10日)

中部支部 (3件)

- ・第195回例会 受賞講演ならびにシンポジウム「食介入の行き先～骨格筋・運動機能の制御～」(信州大学農学部伊那キャンパス，6月24日)
- ・中部・関西支部合同大会(第196回例会)受賞講演，シンポジウム「遺伝子制御の新たなフロンティア」および

一般口頭発表(三重大学，9月30日～10月1日)

- ・第197回例会 受賞講演およびシンポジウム「生命のデジタルマップ：ゲノム情報基盤型生命科学研究の交差点」(名古屋大学，11月25日)

関西支部 (8件)

- ・支部例会(第525回講演会)(京都府立大学，5月27日)
- ・支部例会(第526回講演会)(大阪公立大学，7月8日)
- ・中部・関西支部合同大会(第527回講演会)(三重大学，9月30日～10月1日)
- ・第8回産学官連携シンポジウム(菊正宗酒造(株)，10月14日)
- ・JSBBA KANSAI 10th Student Forum(京都大学，11月25日)
- ・賛助企業—学生交流企画「第9回もっと知ろう賛助企業」(神戸大学，12月2日)
- ・支部例会(第528回講演会)(神戸大学，12月2日)
- ・支部例会(第529回講演会)(京都大学，2月10日)

中四国支部 (6件)

- ・学会創立100周年記念 第65回講演会(例会)(宇部フロンティア大学，6月3日)
- ・学会創立100周年記念 中四国・西日本支部合同大会(第66回講演会)(高知県立県民文化ホールおよび高知県立大学，9月21日～22日)
- ・学会創立100周年記念 第67回講演会(例会)(米子コンベンションセンター，6月3日)
- ・学会創立100周年記念 第37回若手研究者シンポジウム(岡山大学，5月12日)
- ・学会創立100周年記念 第38回若手研究者シンポジウム(高知大学，7月1日)
- ・学会創立100周年記念 第46回市民フォーラム(岡山大学資源植物科学研究所，10月14日)

西日本支部 (5件)

- ・令和5年度日本農芸化学会西日本支部例会(第345回講演会)(九州大学医学部百年講堂，6月16日)
- ・第60回化学関連支部合同九州大会(第346回講演会)(北九州国際会議場，7月1日)
- ・2023年度中四国・西日本支部合同大会(第347回講演会)(高知県立大学永国寺キャンパス，9月21日～22日)
- ・第6回学生フォーラム(第348回講演会)(Web開催，11月25日)
- ・令和5年度日本農芸化学会西日本支部例会(第349回講演会)(九州大学西新プラザ，1月27日)

(3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業

- 1) 2023年度日本農芸化学会賞，日本農芸化学会功績賞，農芸化学技術賞，農芸化学奨励賞，農芸化学女性研究者賞，農芸化学若手女性研究者賞，農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した。

【日本農芸化学会賞】(3件, 50音順)

大利 徹 (北海道大学大学院工学研究院)

「微生物天然化合物の構造・機能多様性を創出する新規生合成酵素・機構に関する研究」

西山 真 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「アミノキヤリアタンパク質を介したリジン等天然化合物の新規生合成システムに関する研究」

吉田久美 (名古屋大学大学院情報学研究科)

「フラボノイド系植物色素の化学・生物学および応用研究」

【日本農芸化学会功績賞】(2件, 50音順)

川向 誠 (島根大学農生命科学系 (生物資源科学部))

「分裂酵母を基盤とした増殖制御機構と CoQ₁₀ 生合成の研究」

山田 守 (山口大学大学院創成科学研究科)

「膜を基軸とする微生物代謝の分子基盤と機能開発」

【農芸化学技術賞】(2件, 50音順)

阿野泰久, 福田隆文, 山崎雄大 (キリンホールディングス株式会社)

「認知機能改善と体脂肪低減作用を有する熟成ホップの発見と事業応用」

森永乳業株式会社

「認知機能改善作用を有するビフィズス菌 MCC1274 の開発と事業化」

【農芸化学奨励賞】(10件, 50音順)

片岡尚也 (山口大学大学研究推進機構)

「産業微生物における細胞内およびペリプラズムでの物質代謝に関わる生化学・生物工学研究」

児島征司 (パナソニックホールディングス(株))

「原始的葉緑体の成立過程における表層膜構造・機能の進化の解明と応用」

佐藤由也 (産業技術総合研究所環境創生研究部門)

「高度な遺伝子発現解析の環境研究・複合微生物研究への応用による革新的な環境技術の創出」

田上貴祥 (北海道大学大学院農学研究科)

「糖質加水分解酵素の機能構造相関の解明と応用」

手塚武揚 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「希少放線菌の形態分化に関する分子遺伝学的研究」

西村 明 (奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)

「酵母におけるアミノ酸の新しい生理機能と代謝調節機構に関する研究」

榊尾俊介 (筑波大学生命環境系)

「芳香族化合物の新たな微生物代謝の発見とバイオマス材料の開発」

松沢智彦 (香川大学農学部)

「培養法とメタゲノム法を駆使した糖質分解酵素の探索」

宮本哲也 (北里大学薬学部)

「細菌における D-アミノ酸代謝経路の解明と多機能型アミノ酸代謝酵素の発見」

山口拓也 (富山県立大学工学部)

「動植物のアルドキシムを介したニトリルやニトロ化合物の代謝に関する研究」

【農芸化学女性研究者賞】(1件)

八波利恵 (東京工業大学生命理工学院)

「極限環境微生物が生産する極限酵素の機能解明とその応用」

【農芸化学若手女性研究者賞】(2件, 50音順)

近澤未歩 (名城大学農学部)

「食品成分を介した免疫応答が及ぼす健康効果についての研究」

三浦夏子 (大阪公立大学大学院農学研究科)

「低酸素条件下における代謝酵素群による集合体形成の発見およびその制御機構の解析」

【農芸化学女性企業研究者賞】(1件)

堀米綾子 (森永乳業株式会社)

「ヒトに棲息するビフィズス菌を中心とした腸内細菌に関する研究」

2) 第20回農芸化学研究企画賞を下記のとおり表彰した。

加藤晃代 (名古屋大学院生命農学研究科)

「翻訳を促進する新生ペプチドの探索とタンパク質生産への産業応用」

高橋 裕 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「産業応用を目指した肝臓オルガノイドの新規培養技術開発とヒト肝臓生理機能の解明」

西川俊夫 (名古屋大学院生命農学研究科)

「ネコのマタタビ反応の研究から着想した蚊の忌避剤の開発」

3) 2022年B.B.B.論文賞(12件)を下記のとおり表彰した。
pp. 125~134 Kaori Itto-Nakama, Shun Watanabe,Naoko Kondo, Shinsuke Ohnuki, Ryota Kikuchi, Toru Nakamura, Wataru Ogasawara, Ken Kasahara, Yoshikazu Ohya
AI-based forecasting of ethanol fermentation using yeast morphological data

pp. 260~272 Takahiro Ikeda, Shun Watanabe, Takakazu Mitani

Genistein regulates adipogenesis by blocking the function of adenine nucleotide translocase-2 in the mitochondria

pp. 273~281 Kasumi Nakagawa, Michiki Takeuchi, Manami Tada, Momoka Matsunaga,

Masami Kugo, Suzuna Kiyofuji, Mayu Kikuchi, Kazuya Yomota, Takaiku Sakamoto, Kenji Kano, Jun Ogawa, Eiji Sakuradani

Isolation and characterization of indigo-reducing bacteria and analysis of microbiota from indigo fermentation suspensions

- pp. 321~330 Takashi Iwasaki, Aiki Maruyama, Yurika Inui, Toshihiko Sakurai, Tsuyoshi Kawano
In vitro transcytosis of *Helicobacter pylori* histidine-rich protein through gastric epithelial-like cells and the blood-brain barrier
- pp. 380~389 Satoko Kawarasaki, Kazuki Matsuo, Hidetoshi Kuwata, Lanxi Zhou, Jungin Kwon, Zheng Ni, Haruya Takahashi, Wataru Nomura, Hisanori Kenmotsu, Kazuo Inoue, Teruo Kawada, Tsuyoshi Goto
Screening of flavor compounds using *Ucp1*-luciferase reporter beige adipocytes identified 5-methylquinoxaline as a novel UCPI-inducing compound
- pp. 717~723 Hideaki Oikawa, Yusuke Mizunoue, Takemichi Nakamura, Eri Fukushi, Ji-ang Yulu, Taro Ozaki, Atsushi Minami
Structure and biosynthesis of the ribosomal lipopeptide antibiotic albopeptins
- pp. 730~738 Naoko Goto-Inoue, Mizuki Morisasa, Keisuke Kimura, Tsukasa Mori, Yasuro Furuichi, Yasuko Manabe, Nobuharu L Fujii
Mass spectrometry imaging reveals local metabolic changes in skeletal muscle due to chronic training
- pp. 875~883 Kumiko Takemori, Kaito Yoshimoto, Kana Aoki, Takuya Matsuo, Takashi Kometani
Development of pups born to rats established as a model of underweight Japanese women and the onset of impaired glucose tolerance
- pp. 1060~1070 Takuto Suito, Kohjiro Nagao, Naoto Juni, Yuji Hara, Takaaki Sokabe, Haruyuki Atomi, Masato Umeda
Regulation of thermoregulatory behavior by commensal bacteria in *Drosophila*
- pp. 1095~1105 Yasuyuki Kobayashi, Mai Kubota, Keiichiro Sugimoto, Tomoya Kitakaze, Naoki Harada, Ryoichi Yamaji
Dietary oleamide attenuates obesity induced by housing mice in small cages
- pp. 1333~1342 Yuta Kudo, Keiichi Konoki, Mari Yotsu-Yamashita
Mass spectrometry-guided discovery of new analogs of bicyclic phosphotriester salinipostin and evaluation of their monoacylglycerol lipase inhibitory activity
- pp. 1431~1437 Masataka Narukawa, Takumi Misaka
Identification of mouse bitter taste receptors that respond to resveratrol: a bitter-tasting polyphenolic compound
- 4) Most-Cited Paper Award の表彰はなかった。
5) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数23回)。
Vol.84, No.1, pp. 1~16
Kazuhiro Irie
New diagnostic method for Alzheimer's disease based on the toxic conformation theory of amyloid β
- 6) 第3回夢にチャレンジ企画賞は下記の通り表彰した。
吉本賢一郎 (筑波大学生命環境学群生物学類・学部1年生)
「海洋環境負荷問題を解決するペプチド含有塗料の開発」
伏見太希 (芝浦工業大学大学院理工学研究科・院生)
「味覚・嗅覚を実装した人間拡張による健康長寿社会の実現」
- 7) 第2回夢にチャレンジ企画賞継続支援は下記の通り表彰した。
吉崎万莉 (徳島大学大学院先端技術科学教育部・博士後期課程2年生)
「光合成ハウスプロジェクト ～微生物を最大活用し、環境問題を解決する～」
- 8) 2023年企業研究者活動表彰受賞者を下記のとおり表彰した (4名)。
林 遼太郎 (株式会社ニッポン)
池本一人 (三菱ガス化学株式会社)
笠原洋一 (日清食品ホールディングス株式会社)
林 和寛 (味の素株式会社)
- 9) 2023年度, 支部における各賞を下記のとおり表彰した。
【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】2件
太田智也 (北海道大学大学院農学院)
「雪腐病菌由来 β -グルカン分解酵素の機能と構造に関する研究」
章 文 (北海道大学大学院農学院)
「生理活性物質の機能解明を目指した低分子安定同位体標識法の検討」(Introducing stable isotopes into small molecule to elucidate functional analysis of biologically active compounds)
【2023年度日本農芸化学会北海道支部/第53回日本栄養・食糧学会北海道支部合同学術講演会日本農芸化学会北海道支部 学生優秀発表賞】2件
章 文 (北海道大学大学院農学院)
「Accumulation of squalene in filamentous fungi *Trich-*

- oderma virens PS1-7 in the presence of butenafine hydrochloride, squalene epoxidase inhibitor. -Biosynthesis of 13C-enriched squalene」
- 太田智也（北海道大学大学院農学院）
「GH3 β -グルコシダーゼ MnBG3A の反応速度と基質阻害に対する単糖の影響」
- 【2023年度日本農芸化学会北海道支部第2回学術講演会日本農芸化学会北海道支部 学生優秀発表賞】3件
- 入江明歩（北海道大学大学院農学院）
「ラットにおけるL-リジンのGLP-1分泌促進作用」
- 鈴木 彰（北海道大学大学院農学院）
「ゼニゴケのビスビベンジル類生合成における二重結合還元酵素の同定」
- 岡澤空汰（北見工業大学大学院工学専攻）
「好酸性緑藻 *Chlamydomonas eustigma* による粗放な開放型油脂生産系確立の可能性」
- 【日本農芸化学会東北支部 奨励賞】2件
- 大崎雄介（東北大学大学院農学研究科）
「栄養素ならびに食品成分摂取による疾病改善戦略の開発」
- 吉永和明（福島大学食農学類）
「脂質の有機合成法開発と分析手法構築に関する研究」
- 【日本農芸化学会東北支部 若手奨励賞】2件
- 渡嘉敷直杏（東北大学大学院農学研究科）
「*Aspergillus luchuensis* およびその類縁糸状菌の汎用的な形質転換方法に関する研究」
- 徐 復生（山形大学大学院理工学研究科）
「機能性分子の創製に向けた生物有機化学的評価」
- 【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞】
・口頭賞（3件）
- 鄭 芸林（東大院農生科）
「乳酸菌 *Liquorilactobacillus satsumensis* のウォーターケフィアグレイン生産に関わるグルカン合成酵素に関する研究」
- 宇津木優樹（筑波大院 T-LSI）
「切除可能なでグロンを用いた細胞内標的タンパク質発現制御手法の開発」
- 川上哲也（東農工大院農）
「蘚類ハイゴケ (*Calohyphnum plumiforme*) 由来のイソプレレン合成酵素の同定」
・ポスター賞（20件）
- 二川 慶（東大院農生科）
「NMR法を用いたアコヤガイ真珠層タンパク質Pif80に含まれる酸性・塩基性アミノ酸の繰り返し配列(DDRK)のCaCO₃表面での立体構造解析」
- 酒井美紗（筑波大院 T-LSI）
「アゾベンゼンを導入した新規核内受容体リガンドの合成と生物活性評価」
- 稲垣勇汰（東農大院生命）
「CGK733類縁体の合成および細胞増殖阻害活性における構造活性相関研究」
- 齋藤駿介（明治大農）
「大腸菌における機能未知転写因子 YegW による新規グリコーゲン代謝制御」
- 佐藤綾香（筑波大院医学医療系）
「乳酸菌がゼブラフィッシュで発揮する間接的抗酸化作用の研究」
- 酒造ひなた（筑波大MiCS）
「植物病原性糸状菌 *Fusarium oxysporum* の侵襲性と病原性の関連」
- 高橋優乃（東工大院生命理工）
「コリネ型細菌を宿主としたエルゴチオネイン生産に対する基質アミノ酸供給向上のための代謝改変の効果」
- 鈴木仁子（東大院農生科）
「セルソーターを利用したピレン分解菌の分解能を変化させる細菌の取得」
- 小嶋大喜（東洋大院生命）
「大腸菌のCs耐性株ZX-1株のCs耐性機構の解析」
- 戸田征宏（筑波大生命環境）
「細菌-糸状菌間相互作用におけるトランスクリプトームの比較解析」
- 坂田実乃里（東京農大院バイオ）
「藍藻 *Synechocystis* sp. PCC 6803 の巨大プラスミド pSYSA の複製メカニズム解明とベクターの開発」
- 川極幸村（長岡技科大物質生物）
「天然ゴム資化性放線菌のポリ (*cis*-1,4-イソプレレン) 代謝に関与するアルデヒド脱水素酵素の同定」
- 西村瑞希（東大院農生科）
「炎症反応におけるアラキドン酸代謝産物による酸化ステロール産生制御機構」
- 成毛 開（明治大農芸化学）
「脂質の質によるレプチン感受性及びグルコースバランスの制御」
- 籾内彩乃（東理大院創域理工）
「植物免疫活性化内生菌による植物培養細胞の代謝変化誘導」
- 前田紗希（東大院農生科）
「人工化合物DIPAに対する高親和性を有する変異型ジベレリン受容体の創製研究」
- 水取優希（明大院農）
「イネのシオカリ品種における orobanchol 合成酵素の機能解析」
- 曾根康世（東大院農）
「グルタチオン加水分解酵素GGP1の構造基盤」
- 片山徳賢（明大院農研）
「モデルラン藻由来アルギニン前駆体合成酵素の生化学解析とアルギニン生合成遺伝子過剰発現株の解析」
- 竹村孝一（東農大院応生科）
「霊長類味蕾オルガノイドを用いた分子生物学的ツール

の作製」

【2023年度日本農芸化学会 中部支部功労賞】3件

浅野泰久, 飯島信司, 栗冠和郎

【2023年度日本農芸化学会中部・関西支部合同大会 支部奨励賞（第196回中部支部例会）中部支部企業奨励賞および中部支部学術奨励賞】

・中部支部企業奨励賞（7件）

兼田康平（福井県大院生物資源）

「細胞膜透過性改善技術を利用した微生物由来中分子ペプチドの探索」

飛岡佳歩（三重大院生資）

「養殖ナマズ体表からの有用微生物の探索」

千原菜緒（三重大院生物資源）

「微生物熱測定法における定量的MICの算出と固体培養における微生物増殖過程の評価」

眞鍋優佳（名大院生命農）

「システイン選択的修飾剤の開発に向けた3,4-dihydroquinolizinium環の反応性評価」

池田奈未（中部大院応生）

「マルトビオン酸によるコラーゲン吸収促進効果の検証」

津田美里（名大院生命農）

「cDNAディスプレイ法により見出した翻訳促進新生ペプチド配列の検証に関する研究」

出坂夏美（石川県大院）

「線虫を用いた腸管透過性の新たな評価法の開発」

・中部支部学術奨励賞（7件）

高尾朋哉（信大院総合理工）

「マスタケ (*Laetiporus cremeiporus*) 子実体由来抗酸化活性化化合物Inaoside Aの全合成」

加藤まりあ（名大院生命農）

「ホタルルシフェリンのone-pot合成から着想した実用的な化学合成法の開発」

米本英都（信大院総合理工）

「カカオ豆抽出物が脂肪細胞の褐色化を誘導する分子機構の解析」

遠藤真悠子（名大院創薬科学）

「低酸素応答の制御を利用した進化した*in vitro*表皮モデルの研究」

前川泰吉（名大院創薬科学）

「*plb1* 遺伝子変異はSty1 MAPKの活性化を介して分裂酵母の寿命を延長する」

柴田眞也（名大院生命農）

「*Fusarium graminearum* のトリコテセン C-4 位の配糖体化に関わる酵素遺伝子の同定と解析」

本間駿一（静大院総合科技）

「トマト栽培種が獲得した防御活性を強化する香氣二糖配糖体の生合成解明」

【日本農芸化学会関西支部第525回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

大藪 葵（京都府大院生命環境）

「筋刺激に応じた筋萎縮関連代謝産物（Atrometabolite）の統合的メタボローム解析による同定」

【日本農芸化学会関西支部第525回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件

北野里佳（京府大院生命環境）

「希少糖アルロースの摂食抑制作用における中枢機序解析」

【日本農芸化学会関西支部第526回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

松本隆聖（阪公大院農）

「立体選択的ヘテロ Diels-Alder 反応を触媒する人工金属酵素の構築」

【日本農芸化学会関西支部第528回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

山本有紗（京都府大院生命環境）

「転写因子FOXO1活性の抑制を介した筋萎縮抑制効果を持つ食品・植物由来成分の探索」

【日本農芸化学会関西支部第528回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件

高 相昊（神戸大院イノベ）

「バイオプラスチック発酵生産中に発見したメンブレンベシクル創発現象」

【日本農芸化学会関西支部第529回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

加古有宜子（京大院農）

「ミカン青カビ・緑カビ病を惹起する *Penicillium* 属由来病原因子の解析」

【日本農芸化学会関西支部第529回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件

窪井健斗（京大院農）

「イネの細胞壁形成に関わるリグニンモノマー重合酵素の同定：ラッカーゼ欠損変異イネの作出と性状解析」

【日本農芸化学会関西支部 2023年度支部技術賞】1件

辻 光倭 (Noster 株式会社), 有田 誠 (慶應義塾大学薬学部), 岸野重信 (京都大学大学院農学研究科), 小川 順 (京都大学大学院農学研究科)

「腸内細菌由来の機能性脂肪酸類のターゲットリポドミクス分析法の開発」

【日本農芸化学会中四国支部 第10回功労賞】4件

加藤純一（広島大学大学院統合生命科学研究科・教授）

神崎 浩（岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域・教授）

金 哲史（高知大学農林海洋科学部・教授）

中川 強（島根大学学術研究院農生命科学系・教授）

【日本農芸化学会中四国支部 第7回技術賞】1件

溝手晶子, 角田省二, 宮田 学, 里内和弘 (株式会社林原)

「低分子食物繊維素材：環状四糖水飴「テトラリング」の開発」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞】3件

- 中村俊之 (岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域)
「植物性食品成分の生体調節機能に関する研究」
- 花木祐輔 (香川大学農学部)
「線維環境下での細胞応答に着目した創薬シーズの探索および合成」
- 向井理恵 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部)
「フラボノイドの生体動態に影響する要因に関する多角的研究」
- 【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞 (学生部門)】 37件
- 田中智也 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻 博士前期課程2年)
- 大崎南美 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科工学専攻 博士前期課程2年)
- Danang Dwi Cahyadi (鳥取大学農学部共同獣医学研究科博士課程4年)
- 一坂 優 (島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専攻修士2年)
- 池田千秋 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科栄養学専攻 博士前期課程2年)
- 中村碧志 (岡山大学薬学部薬学科6年)
- 森田凌世 (岡山大学大学院環境生命科学研究科 博士前期課程2年)
- 花岡和樹 (広島大学大学院統合生命科学研究科 修士2年)
- 若松寿衣 (広島大学大学院統合生命科学研究科 博士後期課程1年)
- 浦手秋穂 (山口大学大学院創成科学研究科 修士2年)
- 山本菜帆 (香川大学大学院農学研究科応用生物希少糖科学専攻2年)
- 御供 遥 (愛媛大学大学院農学研究科生命機能学専攻2年)
- 檜谷侑太朗 (徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻 博士前期課程2年)
- 大成冬真 (高知大学大学院農林海洋科学専攻2年)
- 北井悠仁 (鳥取大学農学部生命環境農学科4年)
- 齋河聖礼 (米子工業高等専門学校物質工学科5年)
- 井上鼓捺 (島根大学生物資源科学部生命科学科4年)
- 仮屋朱音 (くらしき作陽大学食文化学部栄養学科4年)
- 久原侑莉 (岡山大学薬学部薬学科4年)
- 白保和哉 (岡山理科大学理学部生物化学科4年)
- 高橋萌々香 (岡山大学農学部総合農業科学科4年)
- 田中里奈 (岡山理科大学4年)
- 長塩優香 (岡山県立大学保健福祉学部栄養学科4年)
- 川寄紗矢佳 (広島大学工学部4年生)
- 杉本雅哉 (近畿大学工学部化学生命工学科4年)
- 佐藤悠奈 (山口大学農学部生物機能科学科4年)
- 正田直輝 (水産大学校食品科学科4年)
- 田中星丞 (山口大学理学部4年)
- 廣中亜衣 (宇部フロンティア大学短期大学部食物栄養学科2年)
- 松本優海 (山口県立大学看護栄養学部栄養学科4年)
- 丸野くるみ (宇部工業高等専門学校物質工学科5年)
- 三和諒太 (山口大学工学部応用化学科4年)
- 石井大智 (香川大学農学部4年)
- 河合柚希 (香川大学農学部4年)
- 寺下晴夏 (愛媛大学農学部生命機能学科4年)
- 立石晟菜 (徳島大学生物資源産業学部4年)
- 藏菌裕愛 (高知大学農林海洋科学部農芸化学科4年)
- 西川拓海 (高知工科大学環境理工学群4年)
- 【2023年度中四国・西日本支部合同大会第66回講演会 優秀発表賞】 7件
- 金田梨沙 (愛媛大農)
「酢酸菌グリセロール脱水素酵素の機能安定化の物質生産および呼吸鎖への影響」
- 佐々木 咲 (広島大院総合生命)
「スフィンゴ脂質鎖長がオルガネラの形態や量に及ぼす影響」
- 庄野 陸 (徳島大院創成科学)
「プレニルフラボノイドの抗アレルギー作用」
- 杉田皓紀 (高知大院農林海洋)
「オリーブを食べると何故オリーブアナアキゾウムシの寿命が延びるのか?」
- 辻岡芽依 (愛媛大院農)
「ウド葉エタノール抽出物の抗炎症効果に関する研究」
- 中川 栞 (愛媛大農)
「出芽酵母における液胞アミノ酸リサイクルの重要性について」
- 花岡和樹 (広島大院総合生命)
「核-液胞接合部 (NVJ) を介したスフィンゴ脂質による液胞分裂制御機構」
- 【日本農芸化学会西日本支部第346回講演会 優秀発表賞】 12件
- 後藤芽衣 (九大院生資環)
「緑茶カテキン EGCG の NASH 抑制作用における骨髄性細胞 67LR の関与」
- 板倉真優 (熊本県大院環境共生)
「透明な生分解性プラスチックを合成する水素細菌の分子育種」
- 伊原さとみ (九大院生資環)
「誘電加熱を用いた芽胞形成細菌の発芽促進および殺菌」
- 池上 舞 (九大院生資環)
「脳特異的 L-セリン合成不全マウス視床下部における内分泌ホルモンシグナル伝達変化の性的二型性」
- 大石紗菜 (九大院生資環)
「炭素源の違いが合成腸内細菌叢に与える影響の解析」
- 岩本祐香 (九大院生資環)
「抗生物質の多様性を生み出す硫酸転移酵素の立体構造解析」
- 長嶺一毅 (宮崎大工)
「セルロース結晶面上を移動する *Trichoderma reesei* 由

来セロビオヒドロラーゼ糖結合性モジュールタンパク質の基質認識」

隅谷和樹（北九大院国際環境工）

「ヒト Dectin-1 バリエーションと多糖核酸複合体との親和性評価」

宮部大地（九大院生資環）

「WODL による抗生物質生産菌の単離」

杉井秀彰（宮崎大院工）

「ヒュウガトウキ地上部に含まれる生物活性物質の分析と評価」

鈴木耀介（宮崎大院工）

「ブルーベリー葉と茎の熱水抽出物の分離・分析と ATL 細胞増殖抑制効果」

板村 稔（九大院生資環）

「分裂酵母 *Schizosaccharomyces pombe* の細胞質局在アミラーゼホモログの機能解析」

【2023年度中四国・西日本支部合同大会第347回講演会優秀発表賞】4件

岸田凜太郎（崇城大院工）

「*Aspergillus fumigatus* の真菌型ガラクトマンナン生合成に関わる α -1,2-マンノース転移酵素 CmsA の遺伝子破壊による菌糸成長抑制を抑制する変異株の変異点解析」

永田妃奈子（熊本県大院環境共生）

「たくあん漬から分離した乳酸菌 *Lactococcus lactis* PJR24 が生産するバクテリオシンの精製方法の検討と性質」

野内綾太（九大院生資環）

「ヒト血漿中に存在する植物 miRNA とその機能解析」

守田湧貴（九大院生資環）

「黄麹菌生細胞におけるグルコアミラーゼ mRNA の局在機構解析」

【日本農芸化学会西日本支部第348回講演会 優秀発表賞】4件

Keisaku Matsuzaki (Grad. Sch. Bioresour. Bioenviron. Sci., Kyushu Univ.)

“The efficacy of kale intake on chronic constipation through the alteration of gut microbiome”

Haruki Sakima (Grad. Sch. Agric., Kagoshima Univ.)

“Effect of minerals derived from water on shochu mash”

Ta Hoang Trang Thy (Grad. Sch. Bioresour. Bioenviron. Sci., Kyushu Univ.)

“Heterologous expression of novel bacteriolysin domains produced by *Weissella minor* COM”

Kentaro Hiramatsu (Grad. Sch. Agric., Kagoshima Univ.)

“Efficient gene targeting in *katsuobushi* fungus, *Aspergillus chevalieri*”

【令和5年度日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（学生の部）】3件

丸亀裕貴（九州大学大学院生物資源環境科学府）

「食品成分のマイクロ RNA を介した生体調節作用機構に関する研究」

守田湧貴（九州大学大学院生物資源環境科学府）

「黄麹菌におけるタンパク質品質管理および mRNA 局在化機構に関する研究」

山田あずさ（九州大学大学院生物資源環境科学府）

「毛髪に定着する細菌の分離特性評価およびヒトケラチノサイトにおける機能解明」

【令和5年度日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（一般の部）】1件

大城麦人（九州大学大学院農学研究院）

「伝統的パン種をモデルにした微生物叢の動態に関する研究」

(4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業

1) 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業（一部）第20回農芸化学研究企画賞の3件に6,000,000円、第3回夢にチャレンジ企画賞の2件に900,000円、第2回夢にチャレンジ企画賞継続支援の1件に400,000円を助成した。第20回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記15社より22口の御寄附をいただいた。アサヒクオリティーアンドイノベーションズ(株)、味の素(株)、天野エンザイム(株)、(株)カネカ、キッコーマン(株)、キリンホールディングス(株)、サッポロビール(株)、サントリーウェルネス(株)、日清オイリオグループ(株)、長谷川香料(株)、(株)明治、森永乳業(株)、ヤマサ醤油(株)、雪印メグミルク(株)、ライオン(株)

2) 農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成 ※100周年記念事業 第5回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の7件に7,000,000円を助成した。

三上奈々・田村健一（帯広畜産大学生命・食料科学研究部門食品科学分野・北一ミート株式会社）

「ドライ熟成過程における肉の表層と内部の微生物菌叢と肉質の変化」1,000,000円

山下哲郎・浅沼宏一（岩手大学農学部・株式会社浅沼醤油店）

「廃棄パンを活用した新たな発酵調味料の開発」1,000,000円
山口智子・榎 康明（新潟大学教育学部・株式会社プラントフォーム）

「アクアポニックス農法による機能性野菜の創出」1,000,000円

奥村克純・籠谷和弘（三重大学大学院生物資源学研究所・辻製油株式会社／三重大学プロジェクト）

「ヒノキ精油の機能性探索：ヒアルロン酸産生促進作用による化粧品素材への展望」1,000,000円

田中俊一・安達宏昭（京都府立大学大学院生命環境科学研究科・株式会社創晶）

「独自の人工結合タンパク質創生技術を基盤とする創薬標的の構造解析支援システム」1,000,000円

鈴木宏和・渡辺俊介（鳥取大学工学部・株式会社プロテイン・エクスプレス）

「VHH抗体の選別と生産を一貫して行える宿主ベクター系の開発」1,000,000円

小林元太・高橋勝則（佐賀大学農学部・株式会社オフィス・タカハシ）

「乳酸発酵による色落ち海苔の高付加価値化による新規有用食品素材の開発」1,000,000円

- 3) 農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第3回農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の3件に3,000,000円を助成した。

河田美幸（愛媛大学大学院農学研究科・准教授）

「液胞アミノ酸プールを介した細胞内アミノ酸ホメオスタシスの分子機構解明」1,000,000円

小林美里（名古屋学芸大学管理栄養学部・准教授）

「脂質異常症モデルマウスにおける脳のビタミンE濃度の決定因子の解析」1,000,000円

山田千早（明治大学農学部・専任講師）

「アーキア細胞壁シュードムレインの多糖部分を分解する酵素の構造機能解析」1,000,000円

- 4) 農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第3回農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の3件に1,500,000円を助成した。

奥田 綾（京都大学複合原子力科学研究所・准教授）

「高機能・高汎用性タンパク質ライゲーション酵素の開発」500,000円

近澤未歩（名城大学農学部・助教）

「腸管免疫系における多糖の機能性検証」500,000円

中川香澄（岐阜大学応用生物科学部・助教）

「アルカリ環境において微生物が産生するバイオフィルムの役割の解明」500,000円

- 5) 研究奨励金、国際会議出席費補助金の助成

第51回 研究奨励金 5件2,500,000円

石川和也（立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構・助教）

「イネの子葉鞘における耐病性機構の解明」500,000円

伊藤 剛（愛媛大学大学院農学研究科・助教）

「基質複合体の解析を指向したミトコンドリアADP/ATP輸送体の分子内架橋」500,000円

鹿島騰真（東京大学大学院農学生命科学研究科・助教）

「病原菌細胞壁糖鎖を分解するとされる新規酵素および遺伝子クラスターの分子解析」500,000円

野村泰治（富山県立大学工学部生物工学科・教授）

「エピジェネティック制御による休眠二次代謝産物を利用した植物培養細胞での革新的物質生産技術の確立」500,000円

藤井靖之（芝浦工業大学 SIT 総合研究所・特任研究員）

「渋味がもたらす新規機能性発見への挑戦 ～カテキンオリゴマーの睡眠-覚醒への影響～」500,000円

第79回 国際会議出席費補助金 2件600,000円

【一般枠】2件600,000円

益村晃司（広島大学大学院統合生命科学研究科・研究員）

「第37回国際酵母シンポジウム」(2023/11/27～12/1 オーストラリア) 300,000円

三浦聡子（秋田県立大学・特任助教）

「スターチャウンドテーブル」(2023/10/15～10/17 アメリカ) 300,000円

第80回 国際会議出席費補助金 2件400,000円

【一般枠】2件400,000円

小川智久（東北大学大学院農学研究科・教授）

「第28回南アフリカ生化学および分子生物学(SASBMB)会議」(2024/7/7～7/10 南アフリカ) 200,000円

加治屋勝子（鹿児島大学農学部・研究教授）

「国際ニンニクシンポジウム」(2024/4/26～4/28 ドイツ) 200,000円

- 6) 外国人等講演会の開催補助

2023年度の申請はなかった。

- 7) 国際シンポジウムの開催補助

申請が2件あり、採択した。

- 1 [No.31]「第59回 植物化学シンポジウム」(2023/11/10, 東京大学山上会館本館) 参加者100名, 補助総額370,000円

- 2 [No.32]「SDGs国際シンポジウム『Valorization of Thermotolerant microbial resources for Biofuels and Bioproducts under BCG (Bio-Circular-Green) Concept (バイオ・サーキュラー・グリーンコンセプトに基づいたバイオ燃料・バイオ生産物生産のための中高温微生物の活用)』」(2023/11/10, 山口大学大学会館) 参加者51名, 補助総額220,000円

- 8) 藪田講演会の開催補助

2023年度の申請はなかった。

- 9) 藪田セミナーの開催補助

2023年度の申請はなかった。

- 10) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助

2023年度の申請はなかった。

- 11) 中学校・高等学校への出前授業

2023年度は下記のとおり、全1回開催した。

- 1 [第68回] 2023年7月13日(木) 福島県郡山ザベリオ学園中学校「すごすぎるぜ遺伝子—最新の酵素研究：遺伝子をいじると驚異の能力を発揮?!」講師：杉森大助氏(福島大学理工学群共生システム理工学類物質科学コース 教授) 聴講者：生徒55名

- 12) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助
北海道支部

【講演会補助事業】2件

申請者：北岡直樹（北大院農）
「Dissecting gene-metabolite relationships in the legume terpenome」

Sibongile Mafu (Department of Biochemistry and Molecular Biology, University of Massachusetts-Amherst)
補助額 10,000円

申請者：浦木康光（北大院農）
「エクспанシンは本当に多糖の水素結合を切断するのか？—FTIRによる検証—」

今井友也（京都大学生存圏研究所）
補助額 10,000円

関東支部

【若手発案企画】2件

申請者：関 貴洋（早稲田大学）
第21回微生物研究会「微生物の進化、その産業応用」
開催日：2023年10月21日
会場：早稲田大学西早稲田キャンパス
補助総額 100,000円

申請者：若森晋之介（東京農業大学）
天然物化学研究会「進化する天然物化学」
開催日：2023年11月17日
会場：東京農業大学世田谷キャンパス
補助総額 100,000円

関西支部

【提案公募事業】4件

申請者：吉田健一（神戸大イノベ）
BACELL2023会議 開催補助金
補助総額 100,000円

申請者：田中克典（関西学院大生命環境）
第24回酵母合同シンポジウム 開催補助金
補助総額 200,000円

申請者：岸野重信（京大院農）
2023年度第5回脂質駆動学術産業創生研究部会講演会
開催補助金
補助総額 200,000円

申請者：岡澤敦司（大阪公立大農）
第17回国際寄生植物学会（17th World Congress on Parasitic Plants）開催補助金
補助総額 200,000円

13) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助
北海道支部

日本農芸化学会2023年度大会（広島）
6名（新規入会6名）補助総額24,000円
2023年度日本農芸化学会北海道支部／第53回日本栄養・食糧学会北海道支部合同学術講演会 参加補助金
2名（新規入会2名）補助総額31,420円
2023年度日本農芸化学会北海道支部第2回学術講演会
5名（新規入会3名）補助総額72,040円
東北支部

日本農芸化学会東北支部第158回大会（仙台）学生旅費補助金

18名 補助総額139,730円

中四国支部

学会創立100周年記念中四国・西日本支部合同大会（高知）参加旅費補助金

1名 補助総額7,000円

学会創立100周年記念第67回講演会（鳥取）参加旅費補助金

3名 補助総額54,700円

【その他の事業】

(1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) 各種授賞_「農芸化学技術賞」関連商品画像の追加掲載、トップページ掲載の賛助会員企業ロゴ（バナー）の追加掲載、日本語版の学会ホームページから誰でも検索可能な農芸化学関連大学大学院の研究科一覧の更新をした。

2) ニュースメール及びSNSの活用、本会の活動内容等の逐次発信

2023年度はメールアドレス登録会員向けニュースメールを65回配信した。メールアドレス登録者は2024年2月現在約6,150名である。

支部の会員に限定し、支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部10回、東北支部10回、関東支部8回、中部支部9回、関西支部14回、中四国支部10回、西日本支部5回、行事の開催情報をSNSで発信した。

3) 日本農芸化学会 会長主催シンポジウムの開催

各支部に所在する大学における農芸化学会の普及活動として、日本農芸化学会 会長主催シンポジウムを以下のとおり2回開催した。

1 [第1回]（弘前）2023年4月28日（金）弘前大学 創立50周年記念会館 岩木ホール（参加者数約50名）

2 [第2回]（福井）2023年11月24日（金）福井県立大学 永平寺キャンパス 講堂（参加者：110名、ポスター発表：16件、企業展示数：8件）

4) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2023年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 23件（国内16件、海外7件）

国内：

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ・国会図書館 | ・農林水産省図書館 |
| ・科学技術振興機構 | ・工業所有権情報・研修館 |
| ・国際医学情報センター | ・日本化学会 |
| ・日本生化学会 | ・日本生物工学会 |
| ・日本薬学会 | ・繊維学会 |
| ・バイオインダストリー協会 | ・日本香料協会 |
| ・有機合成化学協会 | ・山陽技術振興会 |
| ・科学新聞社 | ・インフォーママーケット
ジャパン(株)「食品と開 |

海外:

- ・中国農業化学会 (台)
- ・The British Library (英)
- ・The Science Library Science Museum (英)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences (中)
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences (中)
- ・Chemical Abstracts Service (米)
- ・USDA National Agricultural Library (米)

※ Russian Academy of Sciences Library (露) はロシア

宛の国際郵便物の引受一時停止により送付停止中

[英文誌の寄贈・交換] 12件 (国内4件, 海外8件)

国内:

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報・研修館
- ・日本薬学会

海外:

- ・The British Library (英)
- ・China National Chemical Information Center (中)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences (中)
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division (米)
- ・The Library Publications & Information Directorate (印)
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry (チェコ)
- ・Agricultural Science in Finland (フィンランド)
- ・I.N.R.A.C.R. de Jouy-en-Josas Domaine de Vilvert Unite Centrale de Documentation (仏)

※ The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences (露), Russian Academy of Sciences Library (露) はロシア宛の国際郵便物の引受一時停止により送付停止中

- 5) フェロー制度を活用, 本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えるとともに, 本会の更なる発展へ向けての活動を囑する。

2023年度新たに2名が承認された。現在94名の承認者となっている。

[2014~2023年度承認94名]

麻田恭彦, 浅野泰久, 安達修二, 阿部啓子, 安部康久, 池田郁男, 伊藤幸成, 稲垣賢二, 井上國世, 上口美弥子, 植田和光, 内海俊彦, 内海龍太郎, 生方 信, 裏出令子, 江坂宗春, 遠藤銀朗, 大澤俊彦, 大島敏久, 大東 肇, 長田裕之, 小鹿 一, 尾添嘉久, 小田耕平, 加藤陽治, 加納健司, 上村一雄, 河合富佐子, 河岸洋和, 川端 潤, 神崎 浩, 木曾 真, 北本勝ひこ, 木村 誠, 工藤俊章, 久原 哲, 熊谷日登美, 河野憲二, 児島宏之, 後藤俊男, 小林哲夫, 駒井三千夫, 五味勝也, 小山泰二, 沢村正義, 重岡 成, 清水(肖)金忠, 新免芳史, 水光正仁, 須貝 威, 菅沼俊彦, 關谷次郎, 園元謙二, 田中啓司, 田之倉優, 土屋英子, 寺尾純二, 徳田 元, 戸坂 修, 中野長久, 西田律夫, 早川 茂, 林 英雄, 原 博, 深見治一, 福田恵温, 福田雅夫, 伏木 亨, 藤田泰太郎, 古川謙介,

前島正義, 牧 正敏, 正木春彦, 松井博和, 松尾憲忠, 松下一信, 松田 譲, 松本正吾, 宮川都吉, 宮澤陽夫, 三輪清志, 三輪 操, 村田幸作, 森 信寛, 柳田晃良, 山田耕路, 山田 守, 山根久和, 山本憲二, 山本万里, 横田孝雄, 吉澤結子, 吉田 稔, 依田幸司

(2) 関連学協会, 産業界, 官界等との連携・協力の推進事業

1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。

2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。

2023年度に開催したサイエンスカフェのうち, 第147回「暮らしを支える×暮らしを彩る“結晶学”~チョコレートから抗ウイルス薬まで, 美しいだけじゃない, ここに結晶ありき~」, 第151回「岩手の微生物が世界を救う!? 自然に還るバイオプラスチックのおはなし」, 第153回「醤油造りでもウイルスは嫌われる」を日本学術会議農芸化学分科会との共催とした。

3) 日本農学会に評議員, 運営委員として会員を派遣し, 活動した。

2023年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し, 日本農学会評議員会に会長, 副会長1名, 庶務理事が出席した。また2024年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。

4) 公益財団法人農学会の農学教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会に委員としてJABEE対応委員長が出席し, 連携・協力を推進した。

5) 日本生物工学会の生物工学および生物工学関連分野審査委員会に委員としてJABEE対応委員長が出席し, 連携・協力を推進した。

6) 化学情報協会の正会員として, 活動した。

7) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。

8) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し, 活動した。本会会員1名が, 日本光生物学協会の会見幹事を務め, 委員会にも参加した。

9) 日本微生物学連盟に会員, 理事として参加し, 活動した。日本微生物学連盟理事会に本会代表として会員が出席した。

10) 日本昆虫科学連合に会員として参加し, 活動した。

日本昆虫科学連合総会に本会会員1名がオンラインで出席した。

11) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し, 活動した。

・男女共同参画学協会連絡会運営委員会にダイバーシティ推進委員が出席した。

・第21回連絡会シンポジウムにダイバーシティ推進委員が参加した。

・加盟学会の2023年女性比率調査について本会の結果を報告した。

・女子中高生夏の学校2023にダイバーシティ推進委員が

参加し、本会の活動を紹介した。

12) 生物科学学会連合に会員として参加、活動した。

13) 国内学術集会の共催・協賛・後援

【2023年】(53件)

- ・“未来へのバイオ技術”勉強会 AIの利活用シリーズ1「AIによる業務改善と刺さるマーケティング」(Web開催)《後援》(4月26日)
- ・Cutting-edge Bio-seminar 2「リパーパシグと患者データを活用した創薬エコシステム」(Web開催)《後援》(5月17日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会 シリーズ: With コロナ時代を生きる!② コロナ2019抑制(東京・ハイブリッド開催)《後援》(5月26日)
- ・界面コロイドラーニング—第39回現代コロイド・界面化学基礎講座—東京会場(同志社大(東京))《後援》(6月1日-2日)
- ・日本アミノ酸学会第7回産官学連携シンポジウム「日本のたんぱく質栄養 ~新知見と次世代への提案」(東大)《後援》(6月2日)
- ・環境バイオテクノロジー学会2023年度大会(岡山理科大)《後援》(6月8日-9日)
- ・日本熱測定学会 熱測定オンライン講習会2023(Web開催)《後援》(6月15日から全4回)
- ・界面コロイドラーニング—第39回現代コロイド・界面化学基礎講座—大阪会場(大阪)《後援》(6月15日-16日)
- ・第384回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(6月20日)
- ・理研シンポジウム: 分子構造解析2023: MSとNMRの基礎と実践(埼玉)《後援》(6月27日)
- ・第35回万有札幌シンポジウム 有機合成の限界を超える(北大)《後援》(7月1日)
- ・第122回有機合成シンポジウム(東京)《後援》(7月19日-20日)
- ・第385回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(7月19日)
- ・Food Bio Plus 研究会公開市民講演会「人・社会・地球の健康を実現する未来の食」(京大・ハイブリッド開催)《後援》(8月28日)
- ・第37回キッチン・キットサン学会大会(鳥取)《後援》(9月5日-6日)
- ・2023年度日本冷凍空調学会年次大会(日大)《後援》(9月6日-8日)
- ・第42回日本糖質学会年会(鳥取)《後援》(9月7日-9日)
- ・第74回コロイドおよび界面化学討論会(信州大)《後援》(9月12日-15日)
- ・第20回高付加価値食品開発のためのフォーラム(同志社大)《後援》(9月19日-20日)
- ・第39回有機合成化学セミナー(兵庫)《後援》(9月20日-22日)
- ・未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西(大阪)《後援》(9月21日)
- ・東京工業大学 第8回超スマート社会推進フォーラム(東工大)《後援》(9月26日)
- ・HPLC & LC/MS講習会2023(東京)《後援》(9月27日-29日)
- ・第23回生体触媒化学シンポジウム in 鹿児島(鹿児島大)《後援》(9月28日-29日)
- ・セルロース学会第30回年次大会(広島)《後援》(9月28日-29日)
- ・第33回イソプレノイド研究会例会(島根大)《後援》(9月29日)
- ・KISTEC教育講座2023「微生物発電が導く未来へのサステイナブル・バイオテクノロジー」(神奈川)《後援》(10月13日)
- ・第71回日本レオロジー討論会(愛媛)《後援》(10月19日-20日)
- ・第59回熱測定討論会(日大)《後援》(10月24日-26日)
- ・大豆のはたらき in 大阪一人と地球を健康に—(大阪)《後援》(10月28日)
- ・第72回プラスチックフィルム研究会講座(東工大)《後援》(11月2日)
- ・第123回有機合成シンポジウム(早大)《後援》(11月7日-8日)
- ・第60回ペプチド討論会(滋賀)《後援》(11月8日-10日)
- ・日本清涼飲料研究会 第32回研究発表会(東京)《後援》(11月8日)
- ・第22回食品レオロジー講習会(東大)《後援》(11月9日-10日)
- ・日本希土類学会第41回講演会(東大)《後援》(11月10日)
- ・岡山大学寄付講座微生物インダストリー講座シンポジウム SDGs時代の『麹菌×固体培養』を活かした新たなものづくり—発酵食品からアップサイクルまで—(岡山)《後援》(11月10日)
- ・生物発光化学発光研究会 第38回学術講演会(電気通信大)《後援》(11月11日)
- ・第18回日本たまご研究会 Egg Science Forum 2023(京都女子大)《後援》(11月11日)
- ・2023年度有機合成化学講習会(東京)《後援》(11月16日)
- ・第40回医用高分子研究会講座(東京理科大)《後援》(11月20日)
- ・第389回液体クロマトグラフィー研究懇談会(神奈川)《後援》(11月21日)
- ・第50回炭素材料学会年会(宮城)《後援》(11月29日-12月1日)
- ・第28回液体クロマトグラフィー研究懇談会 特別講演会・見学会(滋賀県)《後援》(11月29日)
- ・第20回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(東大)《後援》(11月30日-12月1日)

- ・ LC- & LC/MS-DAYS 2023～人財育成～（滋賀県）《後援》（11月30日-12月1日）
- ・ “未来へのバイオ技術”勉強会「ゲノム歴史学」（Web開催）《後援》（12月5日）
- ・ 第198回腐食防食シンポジウム（東京）《後援》（12月11日）
- ・ 材料技術研究協会第4回WEBセミナー「フッ素を利用しない機能性表面創成技術の新展開」（Web開催）《後援》（12月11日）
- ・ 理研シンポジウム 第21回 分析・解析技術と化学の最先端（理研）《後援》（12月12日）
- ・ “未来へのバイオ技術”勉強会「アニマルウェルフェアと Well-being～貴方の愛犬と、ともに永く幸せに」（Web開催）《後援》（12月12日）
- ・ 第390回液体クロマトグラフィー研究懇談会（神奈川）《後援》（12月18日）
- ・ 革新的環境技術シンポジウム 2023～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～（東京）《後援》（12月20日）

[2024年] (31件)

- ・ 第2回プラズマ種子科学研究会（名古屋大）《後援》（1月6日-7日）
- ・ 原子力総合シンポジウム 2023（東京・ハイブリッド開催）《後援》（1月22日）
- ・ 第391回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》（1月24日）
- ・ 第29回高専シンポジウム（新潟）《後援》（1月26日-27日）
- ・ 第10回日本微生物学連盟フォーラム（東大）《後援》（2月10日）
- ・ 第26回健康栄養シンポジウム（お茶女大）《後援》（2月17日）
- ・ 第392回液体クロマトグラフィー研究懇談会（神奈川）《後援》（2月27日）
- ・ 第12回低温・氷温研究会（鳥取）《後援》（3月2日）
- ・ コロナド先端技術講座2023 柔らかい多孔性材料—その構造と機能をさぐる—（日大）《後援》（3月14日）
- ・ 4大学+1企業アグリ食品セミナー「食の未来を創るパートナーシップ:産学連携がもたらす機能性革新」（東京・ハイブリッド開催）《後援》（3月15日）
- ・ 第73回プラスチックフィルム研究会講座（東工大）《後援》（3月18日）
- ・ 第393回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》（3月22日）
- ・ 上村大輔先生記念会2024（大阪大）《後援》（4月13日）
- ・ 第394回液体クロマトグラフィー研究懇談会（神奈川）《後援》（4月23日）
- ・ 第40回希土類討論会（愛媛）《後援》（5月16日-17日）
- ・ 第35回万有仙台シンポジウム（東北大）《後援》（5月18日）
- ・ 「ニューモダリティと有機合成化学」第3回公開講演会（大阪）《後援》（5月21日）

- ・ 第34回万有福岡シンポジウム（九州大）《後援》（5月25日）
- ・ 第24回マリンバイオテクノロジー学会大会（筑波大）《後援》（5月25日-26日）
- ・ 第395回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》（5月29日）
- ・ 環境バイオテクノロジー学会2024年度大会（宮崎）《後援》（5月30日-31日）
- ・ 第29回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会（山形）《後援》（6月13日-14日）
- ・ 第124回有機合成シンポジウム（北大）《後援》（6月27日-28日）
- ・ 第61回アイソトープ・放射線研究発表会（東京）《後援》（7月3日-5日）
- ・ 第29回液体クロマトグラフィー研究懇談会 特別講演会・見学会（東京）《後援》（7月4日）
- ・ 第36回万有札幌シンポジウム（北大）《後援》（7月13日）
- ・ HPLC & LCMS講習会2024（神奈川）《後援》（7月24日-26日）
- ・ 第66回天然有機化合物討論会（同志社大）《後援》（9月4日-6日）
- ・ 第43回日本糖質学会年会（神奈川）《後援》（9月12日-14日）
- ・ 第53回複素環化学討論会（山口）《後援》（10月9日-11日）
- ・ 第61回ペプチド討論会（名古屋大）《後援》（10月29日-31日）

[2025年] (1件)

- ・ 第67回天然有機化合物討論会（東北大）《後援》（9月9日-11日）

14) 和食文化国民会議に会員として参加した。

15) その他外部団体との連携

- ・ 日本学術振興会第20回日本学術振興会賞に本会から推薦しなかった。
- ・ 日本学術振興会第14回育志賞に本会から1件を推薦した。
- ・ 農学会の第22回日本農学進歩賞に本会から推薦しなかった。
- ・ 飯島藤十郎記念食品科学振興財団の2023年度飯島藤十郎食品科学賞に本会から推薦しなかった。
- ・ 三島海雲記念財団の第13回三島海雲学術賞に本会から1件を推薦した。
- ・ 山田科学振興財団の2023年度研究援助に本会から1件を推薦した。
- ・ 日本農学会の2024年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。
- ・ 令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（若手科学者賞）に本会から1件を推薦した。

(3) 関連する国際協力の推進事業

1) 国際学術集会の共催・協賛・後援

[2023年] (2件)

- ・ The 19th International Conference on Chiroptical

Spectroscopy (広島)《後援》(9月17日-21日)

・第23回シトクロム P450 国際会議・日本薬物動態学会第38回年会 合同大会 (静岡)《後援》(9月25日-29日)

【2024年】(3件)

・International Conference on the Biological Roles of Polyamines 2024 (兵庫)《後援》(8月25日-30日)

・2024 International Garlic Symposium (ドイツ ミュンヘン)《後援》(4月26日-28日)

・2024国際キラリティー連合会議 (京都)《後援》(8月26日-29日)

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。

2) 大学改革支援学位授与機構へ機関別認証評価委員会専門委員候補者を推薦し、協力した。

【総会, 理事会, 委員会の開催】

2023年度(2023年3月1日から2024年2月29日)は下記のとおり開催した。

・総会

第67回(2023年度)定時総会を2023年5月26日、東京大学中島董一郎記念ホール(東京都文京区弥生1-1-1)において開催し、次の議案を可決した。

第1号議案 理事及び監事選任の件

第2号議案 貸借対照表及び正味財産増減計画書の承認

第3号議案 名誉会員の承認の件

・理事会(7回)

5月10日: ①2022年度事業報告の承認, ②減価償却特定資産取崩及び基金化の件, ③2022年度決算書類承認の件及び監査報告, ④通常総会開催の件, ⑤創立100周年記念式典の業務委託契約, ⑥2025年度大会(札幌)の大会実行委員長及び開催日程, ⑦2023年度夢にチャレンジ企画賞助成金の承認, ⑧事務局職員給与の賃上げ及び職務給表の更新

5月26日: ①入会員の承認, ②夢にチャレンジ企画賞の新規公募の中止, ③フェローの称号の取り消し並びに新規承認, ④若手女性研究者賞と農芸化学奨励賞の同年度重複応募の可否, ⑤国際シンポジウム補助の承認, ⑥企業研究者活動表彰候補者の承認, ⑦外部監査契約の継続, ⑧社会保険労務士事務所との契約項目の追加, ⑨他団体の理事の推薦

5月26日(2023年度新体制の理事会): ①会長及び副会長の選出並びに担当職務の分担, ②将来構想検討ワーキンググループの新設

7月5日: ①入会員の承認, ②2会長職務代行者の順位決定, ③将来構想検討ワーキンググループへの諮問, ④農芸化学奨励賞と若手女性研究者賞の年齢制限の変更, ⑤若手女性研究者賞と農芸化学奨励賞の同年度重複応募, ⑥女

性研究者賞等授賞選考委員の承認, ⑦FUTURE 農芸化学100寄附金概要の具体化, ⑧事務局人事・初任給

10月13日: ①入会員の承認, ②名誉会員及び有功会員候補者の承認, ③創立100周年記念式典及び祝賀会招待者の承認, ④2024年度大会参加費, ⑤男女共同参画学協会連絡会の要望書(案)の承認, ⑥第79回国際会議出席費補助金の承認, ⑦2026年度大会(京都)実行委員長の選出, ⑧創立100周年記念式典の業務委託契約, ⑨化学と生物外販用覚書の消費税額の変更, ⑩農芸化学女性研究者賞及び農芸化学若手女性研究者賞授賞選考委員会選考規程変更案, ⑪事務局人事・初任給

12月13日: ①入会員の承認, ②創立100周年記念式典及び祝賀会招待者の承認, ③各種表彰の承認 (1) 2024年度日本農芸化学会賞, 功績賞, 技術賞, 奨励賞 (2) 第21回農芸化学研究企画賞 (3) 2024年度農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞, 農芸化学企業女性研究者賞, ④各種助成金の承認 (1) 第51回研究奨励金 (2) 第21回農芸化学研究企画賞助成金 (3) 第6回農芸化学中小産産・産官連携研究助成金 (4) 第3回農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成金 (5) 第3回農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成金, ⑤創立100周年記念誌の英語名, 農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成, 農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成金の英名, ⑥給与規程の変更, ⑦2024年度事業計画第一次案, ⑧2024年度収支予算第一次案, ⑨創立100周年記念企画の収支予算第一次案

2月13日: ①入会員の承認, ②相談役の承認について, ③創立100周年記念式典及び祝賀会招待者の追加承認, ④授賞選考委員の改選, ⑤2024年度大会の運営委託契約, ⑥2024年度大会附設展示会及びランチョンセミナーの業務委託契約, ⑦各種表彰の承認 (1) 2023年BBB論文賞, Most Cited Review Award, ⑧第80回国際会議出席費補助金(一般枠)の承認, ⑨2024年度事業計画最終案, ⑩創立100周年記念企画の収支予算最終案について(特定資産取崩), ⑪2024年度予算最終案の承認及び資金調達等の見込み, ⑫給与規程の変更

・支部長会議(1回)

7月5日: ①支部の会計について, ②各支部での活動及び表彰の紹介と意見交換

・授賞選考委員会(2回)

11月15日: ①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

12月4日: ①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の選考

・学術活動強化委員会(2回)

3月28日: ①「化学と生物」シンポジウムについて, ②分野融合連携(他学会連携)シンポジウムの開催形式等について, ③女性研究者チャレンジ研究助成一般と若手の重複応募について, ④国際会議出席費補助金など選考方法について

9月11日: ①「化学と生物」シンポジウムについて, ②分

野融合連携（他学会連携）シンポジウムについて，③国際会議出席費補助金の申請について

・学術活動強化委員会メール審議（1回）

5月18日メール審議：①国際会議出席費補助金額について30万円以内の増額

・学術活動強化委員会総務会（2回）

6月21日：①化学と生物シンポジウムの開催について，②共催（分野融合連携）シンポジウムについて，③国際シンポジウム開催補助申請について

7月29日：①化学と生物シンポジウムの開催について，②共催（分野融合連携）シンポジウムについて

・和文誌編集委員会（3回）

3月31日：①委員交代について，②今後の予定と担当業務について，③SDGs特集号の進捗

7月3日：①推薦記事の採否，②ベンチャー企業関連記事の掲載種別について，③「運営委員」「トップランナーに聞く」「農芸化学@high school」担当の検討

12月11日：①推薦記事の採否，②「トップランナーに聞く」インタビュー候補者の検討，③「農芸化学@high school」執筆者へのアンケート内容の検討

・英文誌編集委員会（1回）

4月11日：①委員交代について，②BBB論文賞・Most Cited Award，③BBB原稿の投稿・掲載状況，④BBB連携シンポジウムによるBBB特集の状況，⑤BBB twitterの開始，⑥Note投稿時のチェック項目と投稿システム上の剽窃チェックについて，⑦OUP社によるPublisher's Report

・英文誌編集総務会（1回）

1月15日：①論文賞候補の選考，②BBB Most Cited Paper (Review) Award候補の選考，③IFを上げるための方策，④Associate editorsの名称変更

・産学官学術交流委員会（3回）

6月22日：①委員会活動内容及び年間予定について，②その他（夢にチャレンジ企画賞について），③その他（「FUTURE農芸化学100」への寄附および企画提案依頼）④その他（新しい産学官のマッチングについて）

9月20日：①第18回企画賞報告書の和文誌推薦について，②2023年度さんわか活動計画案，2023年度予算執行状況，2024年度予算計画，③2024東京大会産学官学術交流フォーラム，④その他（第21回農芸化学研究企画賞について），⑤その他（FUTURE農芸化学100寄附金の利用について），⑥その他（新しい産学官のマッチングについて）

12月12日：①第21回農芸化学研究企画賞の最終選考，②第6回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の最終選考，③2024年度予算案の承認について，④2024年度産学官学術交流フォーラムについて，⑤産学官若手交流会（さんわか），⑥その他（企画賞寄附について），⑦その他（委員会の開催について）

・広報委員会（3回）

4月10日：①サイエンスカフェ，出前授業の開催方法（対面式，オンライン形式，実習実験について），②トピックス演題の記者会見の方法を検討，③トピックス賞候補演題の進行役からの回答方法について，④SNS-WGメンバーの補充について（100周年に対応）

7月31日：①トピックス演題の記者会見の方法の検討，②SNS-WGメンバーの補充について，③各支部に所在する大学における普及活動について，④事務局からのSNS配信について

11月24日：①トピックス演題の記者会見の方法の検討とアンケート実施の際の具体的な内容の検討について，②トピックス選考スケジュールについて，③SNS-WGメンバー変更について，④各支部SNS連絡担当要員配置について，⑤2024年度活動計画案・活動予算案

・広報SNSワーキンググループ（2回）

3月10日：①大会期間中のイベントにおけるSNSの活用について

1月16日：①今後のSNS WG（平常時）の活動について，②2024年度大会でのSNS WGの活動について

・JABEE対応委員会（1回）

4月17日：①2023年度農芸化学会JABEE対応委員会の活動方針について，②その他

・ダイバーシティ推進委員会（1回）

4月24日：①女子中高生夏の学校2023への参加，②2023年度男女参画シンポジウムの開催検討，③支部例会等でのダイバーシティ関連イベントの開催対応，④2024年度男女参画シンポジウム企画について，⑤男女共同参画学協会連絡会関係対応，⑥その他

・農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員会（1回）

11月27日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

・創立100周年記念事業実行委員会（2回）

9月8日：①創立100周年記念誌の進捗報告，②記念式典，記念祝賀会，記念シンポジウム，記念展示について，③2024年度大会中のイベント（シンポジウム）計画状況について，④FUTURE農芸化学100寄附状況報告，⑤記念式典，記念祝賀会招待者の選出

12月28日：①創立100周年記念誌の進捗報告，②記念式典，記念祝賀会，記念シンポジウム（これまでの100年シンポジウム歴史編），記念展示について，③2024年度大会中のイベント（シンポジウム，教育講演）について，④FUTURE農芸化学100寄附状況報告，⑤記念式典，記念祝賀会招待者確認，⑥100周年企画2024年度予算報告

・創立100周年記念誌編集分科会第一部（1回）

9月28日：①丸善プラネット社からの進捗報告，②「成果」執筆状況，③冊子体作成に向けて，④年表記載情報の検討，⑤スケジュール確認

・大会実行委員会（9回）

【会員の状況】

2023年度（2024年2月29日現在）の会員数は次のとおりである。

	2023年度	2022年度	増減
名誉会員	15	15	0
有功会員	204	214	-10
シニア会員	193	208	-15
一般会員	6,103	6,207	-104
教育会員	90	92	-2
学生会員	2,152	2,089	63
ジュニア会員	15	11	4
国外会員	11	15	-4
団体会員	223	225	-2
賛助会員	90	95	-5
(口数)	(176)	(181)	(-5)
合計	9,096	9,171	-75

(2024年2月末現在)

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助 (口数)	小計
前年2月末	15	214	208	6,207	92	2,089	11	15	225	95 (181)	9,171
北海道支部	0	13	4	238	2	98	0	0	5	3 (3)	363
東北支部	0	11	10	362	8	185	3	0	15	0 (0)	594
関東支部	9	87	82	2,539	33	865	12	0	108	56 (120)	3,791
中部支部	3	12	23	757	11	312	0	0	29	10 (19)	1,157
関西支部	3	45	42	1,205	15	385	0	0	36	14 (27)	1,745
中四国支部	0	16	11	570	11	198	0	0	20	5 (5)	831
西日本支部	0	20	21	425	10	108	0	0	10	2 (2)	596
国外	0	0	0	7	0	1	0	11	0	0	19
合計	15	204	193	6,103	90	2,152	15	11	223	90 (176)	9,096
増減	0	-10	-15	-104	-2	63	4	-4	-2	-5 (-5)	-75
入会	0	0	0	256	3	911	5	6	5	1 (1)	1,187
復会	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
会員種別変更	2	7	7	557	0	-573	0	0	—	—	—
休会	0	0	0	-3	0	0	0	0	0	0	-3
退会	—	0	-15	-366	-3	-210	0	0	-4	-6 (-6)	-604
会費未納退会	—	—	0	-125	0	-58	-1	0	-3	0 (0)	-187
会費滞納による 会員資格停止	—	—	-4	-417	-1	-7	0	-10	0	0	-439
逝去	-2	-17	-4	-7	-1	0	0	0	—	—	-31
口数変更	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0)	—
合計	0	-10	-15	-104	-2	63	4	-4	-2	-5 (-5)	-75

新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助	小計
2023年度入会	0	0	0	63	1	116	1	4	5	1	191
2024年度入会	0	0	0	193	2	795	4	2	0	0	996
計	0	0	0	256	3	911	5	6	5	1	1,187